



総合型地域スポーツクラブの特徴



多種目

単一種目だけでなく、複数の種目が用意されていることです。

これまでの日本の単一種目型のスポーツ活動とは異なり、多数のスポーツ活動に触れ合える機会が増えます。

多世代

子どもから高齢者まで、一つのクラブで、様々な世代の人たちが一緒に活動ができることです。

いろいろな世代の方々が集まり、いろいろな種目を楽しむことにより、地域の交流、青少年の健全育成、高齢者の生きがいづくりなどにつながります。

多志向

参加者それぞれの興味・関心、体力、技術・技能などに応じて、活動ができることです。

すなわち、競技者の育成、健康づくり、住民の交流など、様々なニーズに対応することで地域のスポーツ人口の掘り起こしにつながります。

クラブ設立のパターン

クラブ設立のきっかけや経緯は様々です。既存の枠にとらわれず、自由な発想からスタートし、それぞれの実情に合わせた自分たちの「オンリーワンクラブ」を目指していきましょう。

① 企業スポーツチームが核となったクラブ

② スポーツ少年団が核となったクラブ

③ 既存スポーツクラブが核となったクラブ

④ 学校開放団体が核となったクラブ

⑤ スポーツ推進委員が中心となって呼びかけたクラブ

⑥ PTA や子ども会等の地域の組織が核となったクラブ